

★咽頭結膜熱(プール熱)★



咽頭結膜熱は、5月から徐々に患者数が増え、夏ごろに流行する感染症です。プール熱とも呼ばれるため、プールに入ったら感染してしまうイメージがありますが、現在は塩素濃度の管理がしっかり行われているためプールの水から感染する事はほとんどなく、主に接触感染で広まります。感染力が非常に強いため、自分も他の人にも感染しないように予防しましょう。

〈症状〉

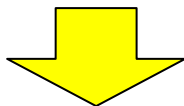
- 発熱
- 咽頭炎(のどの腫れ・痛み)
- 結膜炎(目の充血・目やに・痛み)

〈潜伏期間〉

- 5～7日
- アデノウイルスに感染する事によって起こるウイルス感染症

〈感染経路〉

- 接触感染
 - 飛沫感染
- タオルやドアノブ、手すりなど様々な人が触る物を介して・咳やくしゃみによる飛沫によって感染が広がります。



感染対策

- うがい
- 手洗い
- 手指消毒
- ドアノブや手すり、おもちゃなど手を触れるものは次亜塩素酸ナトリウムやエタノールで消毒する
- タオルや洗面器の共用は避ける
- 症状が治まった後も、咽頭から7～14日間、便から30日間程度ウイルスが排出されるので、おむつの取扱いや交換後の手洗いに注意する
- 目やにや涙を拭き取る場合は、タオルではなくティッシュペーパーや清浄綿を使い、目に直接触れないようにする
- プールから上がった時はシャワーを浴び、目をしっかり洗う



非常に強い感染症のため、病後児保育室でのお預かりは
保育園の登園基準と同じになっております。

出席停止期間 主な症状(発熱・咽頭炎・結膜炎等)が消失した後、2日を経過するまで